

2025年6月4日
日本船主協会 企画部広報室

海洋文化都市くれ海博 2025 に海事 PR ブースを出展
～クイズや VR を通して海事産業を学ぶ～

当協会では、日本の暮らしと産業を支える海運をはじめとする海事産業の重要性や魅力を広く一般の皆様にご覧いただけるよう、船舶や海事施設の見学会、海事 PR ブースの出展等の広報活動を全国各地で開催しております。

5月31日（土）および6月1日（日）の両日、広島県呉市の海上保安大学校において、学生祭「海神祭（わたつみさい）」およびオープンキャンパスと同時に、「海洋文化都市くれ海博 2025」が開催されました。当協会はこの機会を捉え、広島県の呉地域の船主が中心となって組織する「喜望峰の会」メンバーと協力し、海運をはじめとする海事産業の魅力を紹介する海事 PR ブースを出展いたしましたので、その模様をお知らせします。

当協会の海事 PR ブースでは、海運にまつわるクイズや自動車船内の VR 映像見学を実施し、ご参加いただいた方には海運グッズを、X（旧 Twitter）や Instagram のアカウントをフォローいただいた方にはオリジナル海運ミニ袋をプレゼントしました。



海事 PR ブースの様子



自動車船を VR で見学

当日は、大勢の方にブースにお立ち寄りいただき、約 350 組の方々にクイズにご参加いただくとともに、子供たちを中心に VR 映像見学にも多くご参加いただきました。参加者からは、「海運が日本の貿易量の 99%以上を運んでいると知って驚いた」「自動車船の中に車が走り込んでいく VR 映像は迫力があつた」等の声が聞かれました。

また、会場内のステージでは、当協会の加藤海事人材部長（日本郵船機関長）が「海と船、港～機関長のお話」と題して講演を行いました。講演では、海運の重要性について多くの親子連れにわかりやすく解説するとともに、船上から撮影した景色の動画も上映し、来場者に海や船への関心を深めていただきました。

加藤機関長による説明



当協会は、今後も会員会社や海事関連団体と連携しながら、海事 PR ブースの出展をはじめとする各種広報活動を通じて、より多くの皆様に海事産業の重要性や魅力を発信・周知できるように努めてまいります。

以上